渡辺 絵梨奈 個展
WATANABE Erina solo exhibition

光を感じること
to feel the light

KUNST ARZT
www.kunstarzt.com

press release
2022 8 20
KUNSTARZT-415

KUNST ARZT では、初となる
渡辺絵梨奈の個展を開催します。
渡辺絵梨奈は、カメラで捉えた世界から液晶画面のような構造のシルクスクリーン作品を制作するアーティストです。
「人として生きるための考察」である日々のスナップ写真を起点に、そのイメージを色分解などのプロセスを通し、アルミ箔の上にシルクスクリーンすることで、写真イメージの物質性や見えていない光を可視化させ、光について改めて考察する作品を生み出しています。
既視感を揺さぶられに来てください。
(KUNST ARAZT 岡本光博)

無意識の景色
2019
1097×730mm
シルクスクリーン/アルミ

経歴

1995 年兵庫県生まれ
2018 年京都精華大学芸術学部版画コース修了

個展
2018 年 pitfall”(アトリエ三月・大阪)
2020 年 気楼と魚 (kumagusukuSAS・京都)

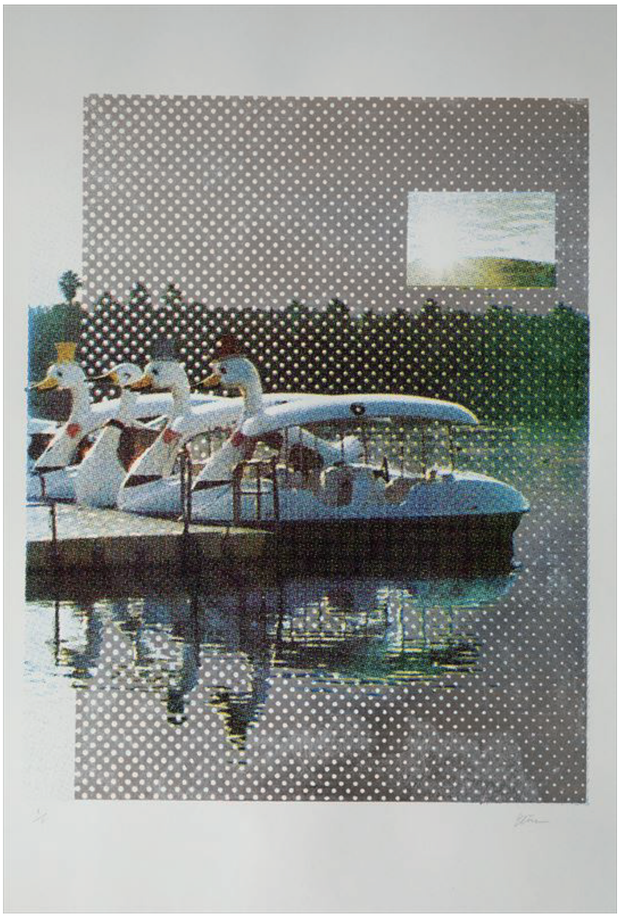
グループ展
2017 年 180 メッシュでお願いします (kara-S・京都)
2017 年 SICF18(スパイラルガーデン・東京)
2018 年 Kinoprint2018 (ギャラリーヒルゲート・京都)
2020 年 心覚えをたどる (hatoba cafe/Gallery・京都)

2022 年 11 月 1 日(火)から 6 日(日)
12:00 から 18:00
会 場:KUNST ARZT
605-0033 京都市東山区夷町 155-7 2F

問い合わせ	KUNST ARZT 代表 岡本光博 090-9697-3786 kunstarzt@gmail.com

アーティストステートメント

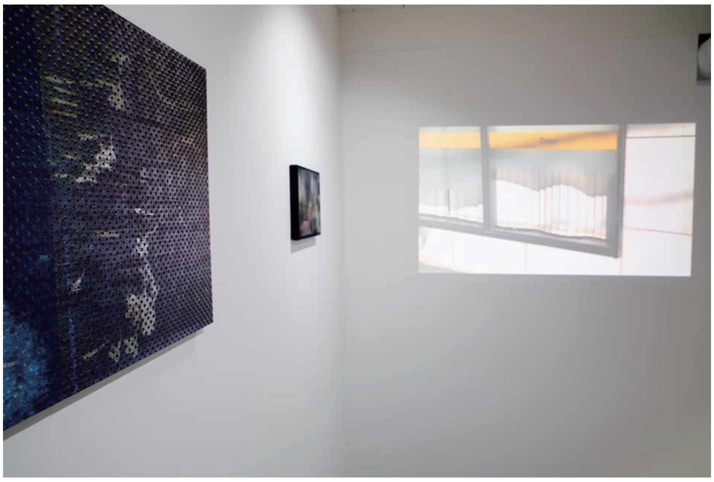
人として生きるための考察として、私は日々スナップ写真を撮る。
その写真をシルクスクリーンによって解体し、インク(CMYK+アルミ箔)に置き換える作業は、
イメージを光に戻し、その存在を再認識するためのもの。
光で物をみていること、それをとらえることをはじめとした身の回りにある光について考えていきたい。



ハーフウェー　2022
545×394mm　シルクスクリーン/アルミ箔

オブジェへの擬態　2020
307×210mm
インクジェットプリント/コンクリート　アルミマウント

無意識の景色　2020
420×594mm　シルクスクリーン/アルミ箔　パネル



個展「気楼と魚」展示風景　2021